

# 最優先はコロナ対策

松井市長は「都構想、万博、IRは大阪の成長と安全安心の為にも必要なので全力で推進します」(Twitter2020/5/25)とつぶやきました。新型コロナ感染拡大で市民の暮らしや雇用は大変! 医療や介護・福祉の現場も深刻です。さらに必ずくる第二波の感染拡大。大阪市がやるべき事がいっぱいあるのに、「都構想」やカジノ誘致に全力なんてとんでもありません。

## 1491億円の「基金」活用で、 第二波に備え 先手の対策を!

新型コロナウイルス感染拡大の危険は続きます。大阪市には災害時などの予期しない支出に備える「財政調整基金」(貯金)が1491億円あります。国や大阪府まかせにせず大阪市が着実にコロナ対策を進めるべきです。

その1

### 医療・介護・教育の体制充実

必ずくる第二波の感染拡大に備え、PCR検査の拡充、医療機関への財政支援で「医療崩壊」を防ぐ、医療・介護・教育施設などへのマスク・フェースシールド・防護服(雨合羽ではなく)の供給、保健所・検査所の体制の充実などが求められます。

その2

### コロナ不況への支援策を

コロナ解雇・雇止めが1万人を超え5月には3倍化しています。コロナ不況は本格化・長期化すると予測されています。事業者への支援、生活保護の活用、国保・介護保険料の引き下げなど失業・減収への対策が急務です。

その3

### 3密防ぐ避難所など—災害対策を

これから台風シーズンを迎えます。また、全国各地で地震が頻発し南海トラフ地震の心配もあります。避難所の3密対策が課題になっています。もしもの時のために、いま直ちに緊急対策が必要です。

